

発行日 2007年2月13日
発行元 土井裕之 〒336-0042 さいたま市南区大谷口2423

tel 048-873-1965
fax 048-873-3446

E-mail doi@doih.net
HP http://doih.net

FROM EDITOR

「イラクに行っていました」。偶然居合わせたその人は、自衛官。話したのは、駅までの十数分でしたが、混乱が続くイラクから、帰国するまでの胸の内を聞くことができました。ある場所で「数百メートルの地点に迫撃砲が着弾しました」。現地に到着後、しばらく興奮状態が続いたとのこと。自衛隊の国際貢献については、冷静な議論が必要ですが、汗をかく自衛隊員にも、時には想いを馳せたいものです。

<http://doih.net>
<http://doih.livedoor.biz>



STEPS 活動履歴 2月5日～2月10日

- 2.5 〈参加〉議案説明会
- 2.6 〈駅立〉南浦和駅西口〈参加〉火曜会
- 2.7 〈駅立〉南浦和駅東口〈懇談〉市民
- 2.8 〈会議〉無所属の会〈公務〉議会
〈公務〉議会運営委員会・代表者会
- 2.9 〈駅立〉武蔵浦和駅西口〈公務〉議運
- 2.10 〈参加〉明大大学院ゼミ



2月議会の日程

2月15・16日 代表質問
19日 教育市民委員会
21日 (総務) 22日 (教育市民)
23日 (環境経済) 26日 (保健福祉)
27日 (都市開発)
3月1日 (建設) 6日 (総括質疑/討論)
9日 本会議・最終日

予算特別委員会

編集責任

さいたま市議会議員
土井裕之

1971年、旧浦和生まれ。川口北高校卒業。1999年より浦和市議を2年勤め、合併の際、辞職。2003年さいたま市議に無所属で当選。明治大学大学院ガバナンス研究科在学中。

所属会派 無所属の会 <http://mu7.org>

所属委員会
議会運営委員会
教育市民常任委員会
市民生活・安全対策特別委員会

Sシリーズ さいたま市政の課題④ 議会費について

議会への厳しい指摘が続く。目的外への使用は言語道断である。必要のない経費の削減は、行政に経費削減を求める立場である以上、率先して行なわねばならない。現在、この任期最後の議会では、議会運営委員会を舞台に、議会経費の削減の議論を進めている。費用弁償の廃止や、視察のあり方、政務調査費の透明性の確保などが俎上に上っている。

議会費削減の議論は、同時に役割を果たす議会に生まれ変わるチャンスでもある。議会の経費は、市財政の約0.5%（一般会計比）に過ぎない。機能する議会に変化を遂げることを見越すならば、削減ありきではなく、どんな議会であるべきかの議論を含め、冷静な対応が必要である。その中から適切な報酬額や定数、議会経費の話が導かれてくるはずだ。その先には行政から自立した議会が実現するだろう。

2月議会 教育市民委員会 での質問

2月19日の教育市民委員会で議案外質問を行なう。通告内容と趣旨は以下の通り。

①公立学校の役割と位置づけ

…市内の小学校・中学校において、公立と私立のそれぞれの進学数とその率。また、私立に流れが傾く中で、公立学校はどのように質を向上させていくのか。

②指定管理者制度のモニタリング

…市場化・民間化の試金石といわれる指定管理者制度。行政の役割は担い手から監督者へと移りつつある中、さいたま市行政はモニタリングをどのように進めているのか。またその技術をどう向上させていくのか。

通告とは？

事前に質問する内容や意向を文書で行政に知らせること。

訂正とお詫び

前回の市民レポートNo.39の初版にて以下の内容の不足文がありましたのでお詫び致します。
予算案の概要内左ブロック一行目【9.2% → 9.2%増の57.5%】
同ブロックの基金からの繰入について【427.8%増】と具体的な%を追加。

便
利
帳

通勤・通学先で大災害に遭遇した時に…

- 「コンビニ」「都立高校」は帰宅支援ステーションです。
水・トイレ・避難情報・一時的な休憩の場の提供を受けることができます。
- 家族の安否の確認は災害用伝言ダイヤル(171)へ。
- 水の確保は重要ですが、食料はしばらくなくても大丈夫だといわれています。

○バックナンバーはホームページにてご覧いただけます。裏白はメモにご利用ください。